



## 40周年にあたって

---

社団法人静岡県設備設計協会

会長 手塚 正 一

40年前を思いおこせば、東京オリンピックが終わり、新幹線も開通し、東名高速道路も着手した高度成長期のまっさかりでした。学校も木造から鉄筋コンクリート造りになり、世はまさに建築ブームで、国内景気が良くてにぎわっていました。私もちょうどその頃、業界の一員になりました。まだ現場では図面が青写真でした。毎日毎日忙しくて、夜遅くまで働いていたことを覚えています。

このような時代に先輩達が、協会を設立してくれました。全国でも一番早いぐらいの組織づくりと聞いております。当時は、建築設備士のような国家試験はなくて、ほとんどの先輩たちは工事店で修行し独学の努力で設計を覚えて、今日の基礎を築きあげてくれたのだと思っております。まだ当時は設備のことを附帯工事と言っており、分離発注などほど遠い存在でした。今までは建築工事の30%を占めて各諸官庁でも設備担当部署がおかれるようになりました。

40年間、業界及び協会をささえてくれました諸先輩方々に深く深く感謝いたします。皆様方のおかげです。これからももっともっと精進努力勉強して、必ずやこのバトンを後継者にしっかりと渡すことができるよう協会員を代表いたしまして仕事にはげむことをお約束してごあいさついたします。